

FAEMA X1

取扱説明書



このたびは、ファエマX1をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に“安全上のご注意”はご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



株式会社マグナ

もくじ




安全上のご注意	1
I. マシンの接続	
給排水の接続	3
電源の接続	3
II. 立ち上げと初期調整	
マシン各部の名称	4
操作ボタン名称	4
マシンの立ち上げ	5
III. 飲料抽出	
コーヒー抽出	6
カプチーノ抽出	6
給湯およびスチーム	7
IV. クリーニング	
簡易洗浄（すすぎ）	8
ミルクライン洗浄	8
コーヒーライン洗浄	9
各部の洗浄	9
V. プログラミング	10
VI. エラーメッセージ	13
VII. トラブルシューティング	14
VIII. マシンの仕様	15













安全上のご注意







- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。









 警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険が予想される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、気をつけていただく「注意喚起」内容です。

 警告	
	開梱、据え付け、移動は専門技術者に依頼する 不完全な据え付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
	床が丈夫で水平なところに確実に据え付ける 製品質量に十分耐えられる丈夫で水平なカウンターやテーブルに据え付けてください。 不完全な据え付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
	屋外据え付け禁止 屋外で使用しないでください。漏電、感電の原因になります。
	水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けない 漏電により感電や火災の原因となります。
	分解禁止 修理技術者、専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。異常動作をしてケガをしたり、感電、火災の原因になります。
	製品の上に乗らない 転倒・落下によりケガや破損の原因になります。
	可燃性スプレーを近くで扱わない シンナーなどの可燃物や可燃性スプレーなどを製品の近くで使用しないでください。電気接点のスパークで爆発や火災の恐れがあります。
	製品に水をかけない 製品に直接水をかけたりしないでください。ショート・感電の原因になります。
	異常時には電源プラグを抜く 異常時には電源プラグを抜くか、元電源を切って運転を停止してください。異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。
	専用コンセントの使用 電源は専用コンセントを使用してください。電源コードを途中で接続したり延長コードの使用やタコ足配線をすると、感電や発熱・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけない 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

	濡れた手で電源プラグに触らない 濡れた手で電源プラグ等の電気部品には触れないでください。また、スイッチの操作をしないでください。感電の原因になります。
	電源プラグを持って抜く 電源プラグを抜くときは、先端のプラグを持って行ってください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線して感電や発熱・火災の原因になります。
	漏電遮断器をつける 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。
	漏電遮断器が作動したとき 漏電遮断器が作動したときは、販売店または専門技術者にご相談ください。無理な電源復帰を行うと感電・火災の原因になります。
	移設 移設は販売店または専門技術者にご相談ください。据え付けに不備があると水漏れ、感電・火災の原因になります。
	廃棄 廃棄は販売店または専門技術者に依頼してください。放置による環境汚染や事故発生の原因になります。

 注意	
	発熱器具を近づけない 故障や電源コードの被覆が溶けることにより火災・感電の原因になります。
	電源プラグは定期的に点検する 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。
	動作部に触れない 内部やポンプの動作部に触れないでください。ケガの原因になります。
	高温部に触らない ブリューグループ等の高温部に触らないでください。火傷の原因になります。
	抽出中は近くに手を入れない 抽出口より熱湯や蒸気が出ますので抽出が終わるまで手を入れないでください。火傷の原因になります。
	長期間使わないとき 長期間ご使用にならないときは、必ず排水し電源プラグをコンセントから抜いてください。飲料の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。
	幼児の手の届く所に据え付けない 幼児の手の届く所に据え付けないでください。ケガの原因になります。

I. マシンの接続



警告

設置工事は専門技術者がおこなってください。

マシンの設置はこの説明書に従って確実におこなってください。

(不完全な設置は火災や感電、転倒、故障の原因になります。)

給排水の接続

1. 給水元栓から浄軟水器 IN側へフレキホース等を接続して下さい。
※ 給水元栓の水圧が5bar(約5.1kg/cm²)を超えている場合は、減圧弁を使用してください。
2. 浄軟水器OUT側にフレキホース等を接続し、排水へ3分間程度水を出し続けて下さい。
3. その後、浄軟水器OUT側とマシンのボイラー給水口をフレキホース等で接続して下さい。
4. 排水ホースをつなぎ、排水管に落とし込んで下さい。

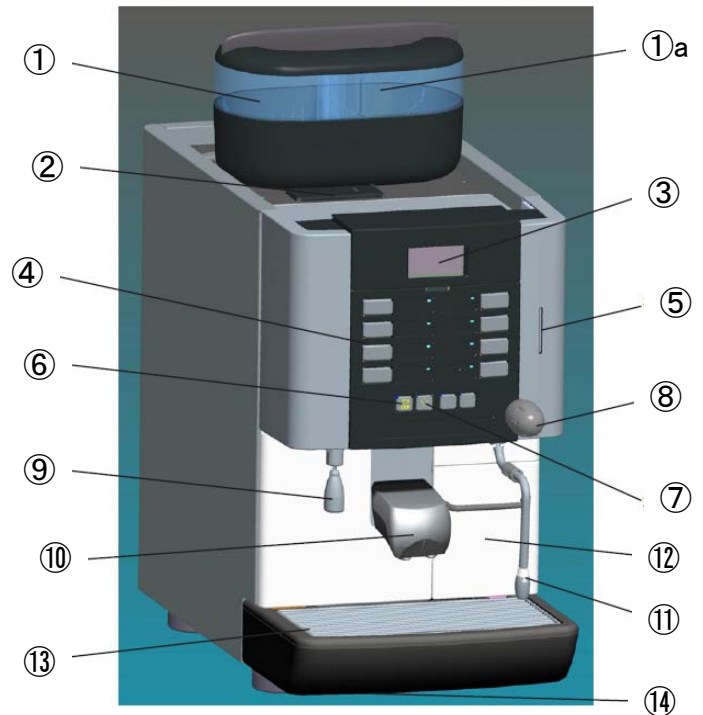
電源の接続

1. 事前に接続するコンセントが、マシンの電気仕様に合っていることを確認して下さい。
2. 電源ケーブルを電気仕様に合ったプラグに接続し、プラグをコンセントに差し込んで下さい。
※ 必ずアースを接続してください。

Ⅱ. 立ち上げと初期調整

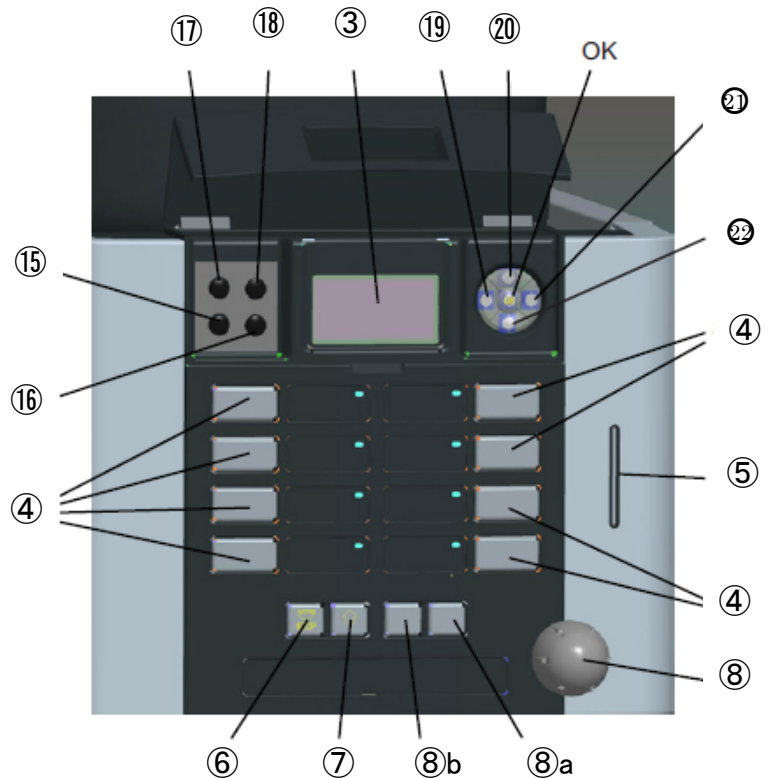
マシン各部の名称

- ① ホッパー1
- ①a ホッパー2
- ② 洗剤投入口
- ③ ディスプレイ
- ④ メニューボタン
- ⑤ カードリーダー (オプション)
- ⑥ 給湯ボタン
- ⑦ シフトボタン
- ⑧ スチームノブ
- ⑨ 給湯ノズル
- ⑩ 抽出口
- ⑪ スチームノズル
- ⑫ カス受け
- ⑬ 排水トレイ
- ⑭ 主電源



操作ボタン名称

- ⑧a フォームミルク(オートスチームつきのみ)
- ⑧b ホットミルク(オートスチームつきのみ)
- ⑮ コーヒーライン洗浄ボタン
- ⑯ ミルクライン洗浄ボタン
- ⑰ 情報ボタン
- ⑱ パラメーターボタン
- ⑲ リターンキー
- ⑳ “+”キー
- ㉑ プログラムキー
- ㉒ “-”キー
- OK “OK”キー

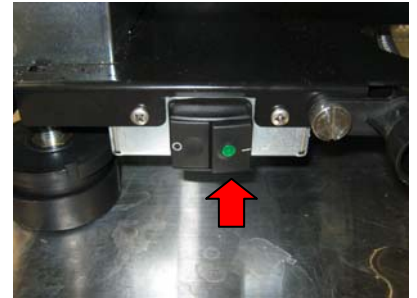


マシンの立ち上げ

注意

マシンを立ち上げる前に、給水、排水、電源の接続が完全に終了していることを確認してください。

1. 給水元栓を開いて下さい。
2. 排水トレイを取り外して図の主電源スイッチ右側を押して電源を入れます。(排水トレイは元に戻す)



3. ディスプレイには以下のように表示されます。



4. 自動的に給水が行われ、抽出可能になると以下のように表示されます。

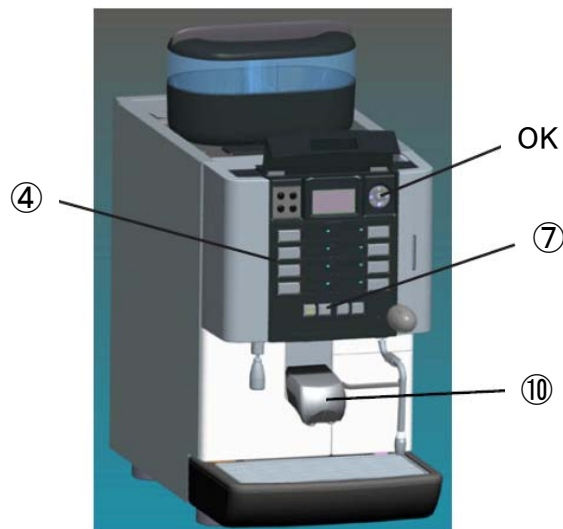


※自動ON・OFFの設定を行っている場合には自動的にウォーミングアップを行います。設定については「プログラム設定について」を参照してください。

Ⅲ. 飲料抽出

コーヒー抽出

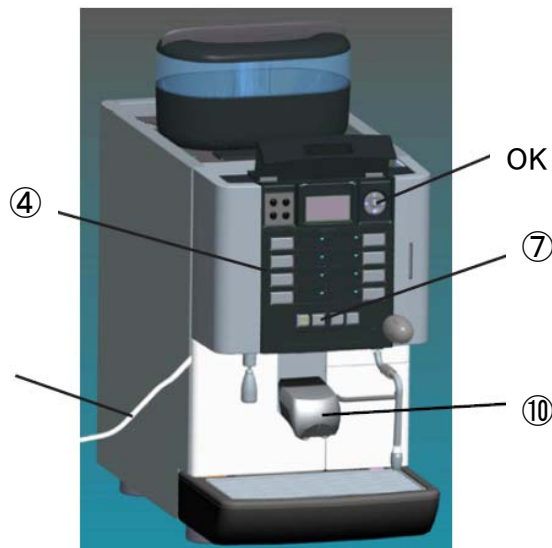
1. 抽出口⑩の下にカップを置いてください。
(必要に応じて抽出口の高さを調整してください)
2. 所望のメニューキー④を押してください。
(シフトキー⑦でメニューを選ぶことも出来ます)
メニューキーのランプが点灯し、抽出が始まります。
3. 抽出が完了したら自動的に停止します。
4. 抽出完了までに“OK”キーを押すことで抽出を
中断することが出来ます。



カプチーノ抽出

●設定方法

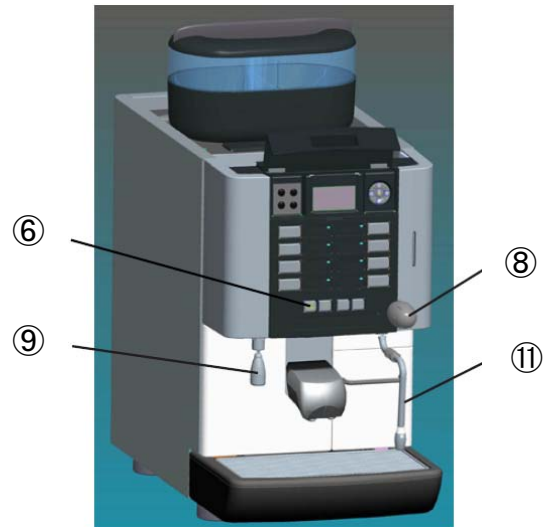
1. ミルクチューブをミルククーラー内のミルクに挿入
してください。
2. 抽出口⑩の下にカップを置いてください。
(必要に応じて抽出口の高さを調整してください)
3. 所望のメニューキー④を押してください。
(シフトキー⑦でメニューを選ぶことも出来ます)
メニューキーのランプが点灯し、抽出が始まります。
4. 抽出が完了したら自動的に停止します。
5. 抽出完了までに“OK”キーを押すことで抽出を
中断することが出来ます。



給湯およびスチーム

●給湯の場合

1. 給湯ノズル⑨の下にカップを置いてください。
(必要に応じて抽出口の高さを調整してください)
2. 給湯ボタン⑥を押してください。
抽出が始まります。
3. 設定量まで出したら自動的に停止します。
4. 完了までにもう一度給湯ボタン⑥を押すことで
抽出を中断することができます。

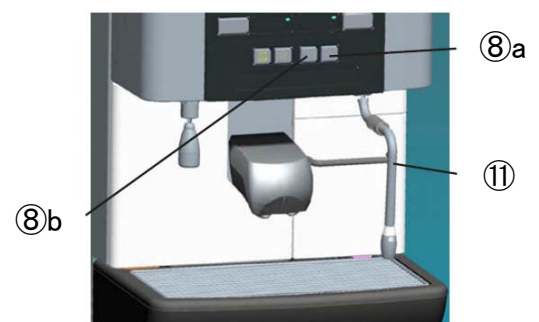


●スチームの場合

1. 加熱したい飲料を入れた容器をスチームノズル
⑪に入れてください。
2. スチームノブを回してスチームを出します。
3. 必要な温度に上がるまで待ちます。
4. スチームノブを時計回りに回してスチームを止
めます。

●オートスチームの場合

1. 加熱したい飲料を入れた容器をスチームノズル
⑪に入れてください。
2. フォームミルク(⑧a)もしくはホットミルク(⑧b)
ボタンを押します。
3. 設定した温度に達すると自動的に停止します。
4. 手動で停止したい場合にはフォームミルクボタ
ン(⑧a)もしくはホットミルクボタン(⑧b)を再度
押すと止まります。



IV. クリーニング

簡易洗浄(すすぎ)

1. コーヒーライン洗浄ボタン⑮を押します。
2. ディスプレイに「コーヒートミルクノ カンイ センジョウ」と表示され、すすぎが行われ抽出口より排出されます。
3. 約30秒間すすぎが行われ終了するとディスプレイ表示が元に戻ります。



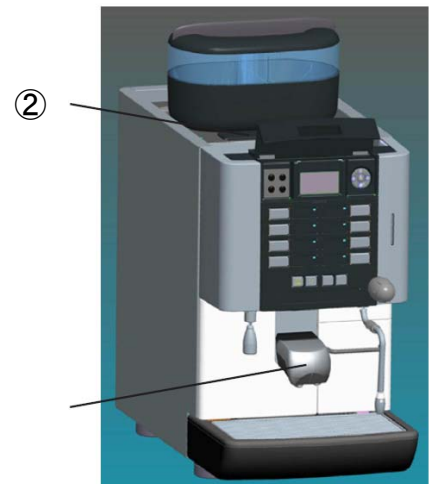
ミルクライン洗浄

1. ミルクタンクからミルクチューブを外し、ミルクタンクを取り外します。
2. メジャーカップに液体洗剤 50ml と水 500ml を入れ、ミルクチューブを差します。
3. ミルクライン洗浄ボタン(⑯)を長押しすると「ミルクユニットセンジョウ」と表示され洗浄を開始します。(約2分間)
4. ディスプレイに「EXECUTE RINSING」と表示されたら、メジャーカップをすすいでから水を 500ml 入れミルクチューブを差します。
5. ミルクライン洗浄ボタン(⑯)を再度押すと「ミルクユニットセンジョウ」と表示されすすぎが始まります。
6. 約2分間すすぎが行われ終了するとディスプレイ表示が元に戻ります。



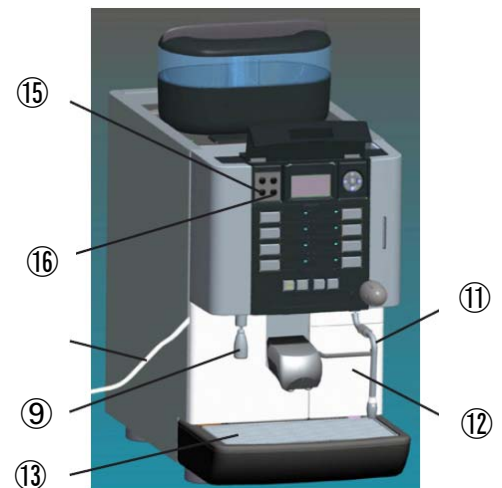
コーヒーライン洗浄

1. 洗剤投入口(②)を開きます。(メニューボタンが点滅します)
2. 洗浄錠剤を1つ入れてシャッターを閉じます。
3. コーヒーライン洗浄ボタン(⑮)を長押しすると「コーヒーユニットセンジョウ」と表示され洗浄を開始します。
4. 約6分間洗浄が行われ終了するとディスプレイ表示が元に戻ります。



各部の洗浄

- ・スチームノズルおよび給湯ノズル
スチームノズル(⑪)をカップトレイ(⑬)に向けてスチームを一度出します。その後、濡れたダスターなどでミルク等の汚れをふき取ってください。
- ・カップトレイ
営業終了時に500ml程度のお湯をカップトレイ(⑬)に注いで流してください。その後トレイを外して洗ってください。研磨剤で磨いたり食器洗浄機を用いないでください。
- ・外装
やわらかい布でマシンの外側をきれいにふき取ってください。洗剤をお使いになる場合には、すき間などからマシン内部に液体が入り込まないように注意してください。
- ・カス受け
カス受け(⑫)を引き抜きます。
たまっているカスを捨て、中をきれいにすすぎます。
周囲をダスター等できれいにふき取り、カスを取り除きます。
カス受けをもとに戻します。



注意！ スチームや熱湯を出すときにはやけどに注意すること

V. プログラミング

● 日付時刻

“+”キー(20)と“-”キー(22)を使って時刻調整を行います。

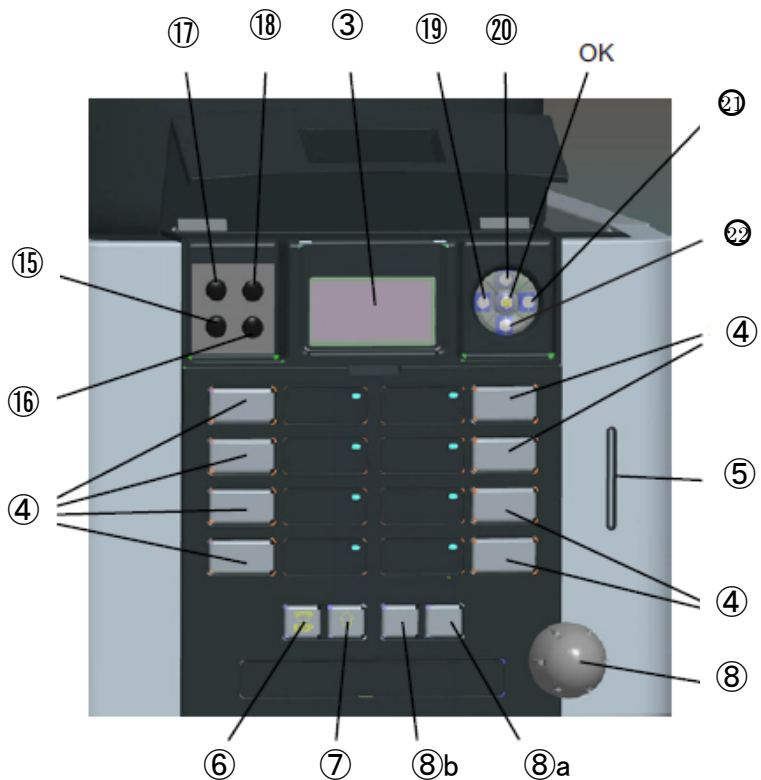
1回押すごとに1分刻みで増減します。

10秒間長押しすることで“分”の設定から“時間”の設定へ移ります。

● カウンターとリセット

情報ボタン(17)を押すことで、各種出杯数が確認できます。

プログラムキー(21)と“+”キー(20)と“-”キー(22)の3つを同時に押すことで杯数リセットすることが出来ます。



● ユーザープログラムへの入り方

プログラムキー(21)を押してください。

各メニューのボタンを押して個々の設定を行います。

リターンキー(19)を押すことでユーザープログラムから抽出可能状態へ戻ります。



● キーメニュー コーヒー

Cycle rept.: 1回のボタンで行う抽出回数(99まで)

コーヒーチュウシュツリョウ: コーヒーの抽出量
0から200までのパルス値

ミルセンタク: ミル左右の選択

コーヒーコナリョウ: コーヒー粉の使用量
0から200までのパルス値



● キーメニュー カプチーノ

Cycle rept.: 1 回のボタンで行う抽出回数(99 まで)
 ミルクチュウシュツリョウ: ホットミルクの抽出量
 0 から 60 秒まで 0.1 秒刻み
 ミルクアワダチ: フォームミルクの抽出量
 0 から 60 秒まで 0.1 秒刻み
 Cold milk dose: コールドミルクの抽出量
 0 から 20 秒まで 0.1 秒刻み
 コーヒーチュウシュツリョウ: コーヒーの抽出量
 0 から 200 までのパルス値
 ミルセンタク: ミル左右の選択
 コーヒーコナリョウ: コーヒー粉の使用量
 0 から 200 までのパルス値


* キーメニュー

タイプ	1 カプチーノ
Cycle rept.	001
ミルクチュウシュツリョウ	10.0
ミルクアワダチ	04.0
Cold milk dose	00.0

OK  bar 1.3

* キーメニュー

コーヒーチュウシュツリョウ	0140
ミルセンタク	MM 1
コーヒーコナリョウ	038

OK  bar 1.3

● キーメニュー ミルク

Cycle rept.: 1 回のボタンで行う抽出回数(99 まで)
 ミルクチュウシュツリョウ: ホットミルクの抽出量
 0 から 60 秒まで 0.1 秒刻み
 ミルクアワダチ: フォームミルクの抽出量
 0 から 60 秒まで 0.1 秒刻み
 Cold milk dose: コールドミルクの抽出量
 0 から 20 秒まで 0.1 秒刻み

* キーメニュー

タイプ	ミルク
Cycle rept.	001
ミルクチュウシュツリョウ	10.5
ミルクアワダチ	04.0
Cold milk dose	00.0

OK  bar 1.3

● キーメニュー 給湯

チュウシュツジカン: 熱湯の抽出量
 0 から 60 秒まで 0.1 秒刻み

* キーメニュー

タイプ	ネットウ
チュウシュツジカン	05.5

OK  bar 1.3

● キーメニュー スチーム

ターボスチーム付の機種のみで機能します。

ミルクアワダチ: 泡立ちのレベル
 001 から 004 まで 1 刻み

* キーメニュー

タイプ	スチーム+エアー
ミルクアワダチ	001

OK  bar 1.3

● ミル調整

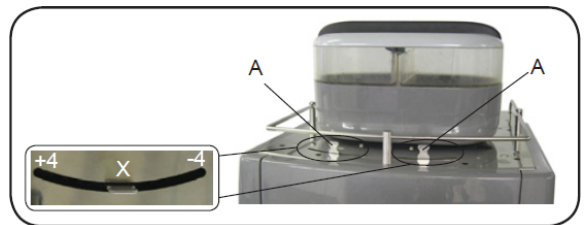
ミル調整を行うにはホッパーの後ろ側にあるレバー(A)で調整を行います。

レバー(A)を持ち上げます。

レバー(A)を時計回りに回すと細かく、反時計回りに回すと粗くなります。

調整ができたならレバー(A)をクリックがあるところまで押し込みます。

レバー(A)は中間点(X)からそれぞれ4段階調整できます。



● サービスタイム

パラメーターボタン(18)を押して時刻設定や自動 ON、OFFなどを設定できます。

ジドウON 本体の電源が自動的にONになり、ウォーミングアップする時刻を設定します。

ジドウOFF 本体の電源が自動的にOFFになる時刻を設定します。

テイキュウビ 定休日を設定します。設定した曜日は自動ON・OFFタイマーは機能しません。

ヨルジカンON 使用しません。

ヨルジカンOFF 使用しません。

センジョウ1 コーヒーライン自動洗浄とミルクライン自動洗浄を実施する時刻を設定します。1日の終業時に行う洗浄です。

センジョウ2～5 営業中に洗浄を行う時刻を設定し、アラーム音とディスプレイ表示でお知らせします。



● 言語設定

パラメーターボタン(18)を押してディスプレイの表示言語を選択することができます。“+”キー(20)と“-”キー(22)で言語を選択し、OKキーを押して決定します。

選択言語は、イタリア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、日本語、ロシア語から可能です。



VI. エラーメッセージ

表示内容	原因	対策
マシンコートタイキ	1. このメッセージは下記の場合に、抽出キーを押した後、ディスプレイに表示されます。 - サービスボイラーの圧力が、予め設定された稼働圧力値よりも低い場合 - ボイラー温度が 60 度以下の場合 2. サービス・ボイラーかコーヒーボイラーが、部品不良のために、上記圧力又は温度以下になった場合には、エラーメッセージが表示され、どの部品に問題があるかを表示します。	1. 表示が消えるまでおまちください。 稼働圧力と温度が左記以上になった場合には、メッセージは自動的に消えます。 2. コールセンターにご連絡ください。
コーヒーボイラーチェックウ	このメッセージは、機械のスイッチが入り、コーヒーボイラーの給水状況確認時に表示されます。	
カスレガマンパイデス	このメッセージは、コーヒーカス入れが満杯になっている事を示していますが、あとシングル 10 杯 (ダブル 5 杯) を抽出出来ます。その後、機械がブロックされ下記メッセージが表示されます。	カウンターをリセットするため、カス入れの中身を捨てるか、「カスステタダサイ」のメッセージが出るまで待つて下さい。
カスステタダサイ	機械は最初に設定された杯数からカウントダウンします。このメッセージはその杯数に達した事を示しています。機械がブロックされ、これ以上ドリンクを抽出できません。	カス入れを取外し、中のコーヒーカスを捨てる。容器を元の位置に戻す。パネルを閉じる。この間、ディスプレイには、「カスイレセットシタダサイ」と表示されます。
カスイレセットシタダサイ	このメッセージは、カス入れの背面が正しい位置になっていない場合に表示されます。	カス入れが挿入されているのにもかかわらずこのメッセージが表示される場合には、カス入れが正しい位置になっているかを確認して下さい。
Tray extracted	このメッセージは、カス入れが正しい位置になっていない場合に常に表示されます。	カス入れが正しい位置に挿入されているかを確認して下さい。
ボイラーキウスイチュウ	このメッセージは、ボイラー給水時に表示されます。	このメッセージは、給水時に自動的に表示され、ユーザーは何もする必要がありません。
Service needed	このメッセージは定期メンテナンスが必要な時に表示されます。メッセージを消したい場合には、リターンキー(19)を 8 秒間押してください。このメッセージは、メインスイッチと共に連続して再度点灯します。	コールセンターにご連絡ください。このメッセージは、メンテナンスが行われな限り消えません。
Softener	このメッセージは、ソフナー樹脂の再生が必要な時に表示されます。(ソフナーメンテナンスの項をご覧ください。)	再生が完了しましたら、リターンキー(19)を 8 秒間押して、メッセージをキャンセルしてください。
マシンオフ	このメッセージは、電源 ON/OFF がプログラムされた場合に表示されます。電源がオフになり、待機モードになっている事を示しています。	プログラミングの仕方については、テクニカルマニュアルをご覧ください。OK キーを数秒押して、機械を ON にして下さい。
Blocked key	通常使用時に、時にスイッチが機械的にブロックされた状態になる事があります。スイッチが 1 分間以上ブロックされ、反応しない場合に、このメッセージが表示されます。 註: ブロックされたキー以外の全キーは、通常通り機能します。	問題を解決するには、キーパッドのブロックされているキーを特定して下さい。その後修正してください。
Messages about washings		本マニュアルの「クリーニング」をご覧ください。

VII. トラブルシューティング

症状	原因	対策
コーヒーマシンが動かず、ディスプレイがオフになっている	電気が供給されていない	電気が供給されているかを確認して下さい。 メインスイッチの位置を確認して下さい。
水がカップウォーマートレーから漏れている。	水受け穴が詰まっている。	洗浄して下さい。
コーヒーが出ない	1.豆不足 2.コーヒーライン詰まり	1.ホッパーシャッターが開いていることを確認してください。 豆を補充してください。 2.コーヒーライン洗浄を行ってください。
コーヒー抽出時間が短い	1.コーヒーが不足している 2.コーヒーが古い 3.コーヒーが粗すぎる	1. プログラムモードからコーヒー量を増やして下さい。 2.新しいコーヒー豆を使用して下さい。 3.コーヒー豆の挽き方を細かくして下さい。
機械からコーヒーが垂れてくる。	1.コーヒー豆が多すぎる。 2.コーヒー豆の挽き方が細かすぎる。	1.プログラムモードからコーヒー量を減らして下さい。 2.コーヒー豆の挽き方を粗くして下さい。
機械の下から多量の水が漏れる	排水栓が詰まっている。 排水受が詰まっている。	洗浄して下さい。
機械は温まっているが、コーヒーが抽出できない。	給水栓又は軟水栓が閉まっている。 給水されていない	栓を開いてください。 給水されるまで待つか水道工事業者を呼んで下さい。
ミルクが出ない	1.ミルク不足 2.ミルクチューブの折れ曲がり	1.ミルクを補充してください 2.ミルクチューブの折れ曲がりを直してください。
ミルクの温度、量、泡立ちが違う	1.使用ミルク温度 2.ミルクチューブ詰まり 3.ミルクチューブの折れ曲がり	1.約 5°Cのミルクを使用してください。 2.ミルクライン洗浄を行ってください。 3.ミルクチューブの折れ曲がりを直してください。
エラー表示(「E052」など)が出ている	マシン内部エラー	エラー表示内容を記録したうえですみやかに電源を切り、コールセンターにご連絡ください。

VIII. マシンの仕様

品名	全自動エスプレッソマシン
型式	FAEMA X1
寸法	幅 350mm 奥行 610mm 高さ 760mm
質量	62kg
電源	AC200V 50/60Hz
消費電力	3100W
ホッパー容量	0.6kg x 2

株式会社マグナ

〒108-0023 東京都港区芝浦2-13-8